

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 7日



提出者

住 所

川崎市高津区梶ヶ谷3-13-31

氏 名

榑末長組 代表取締役 工藤 尚樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-888-2068

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	横浜市管轄内工事現場	自主管理事業登録番号 3101
事業場の所在地	横浜市管轄内工事現場	TEL(連絡先): 044-888-2068

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 建設工事・マンション分譲及び賃貸事業		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高	20 百万円/年
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円/年
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	38名		

産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日 (1 年間)
-------------------	---

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,598.2 t	全処理委託量	1,426.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,598.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	0 t

※ 事務処理欄	
---------	--

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

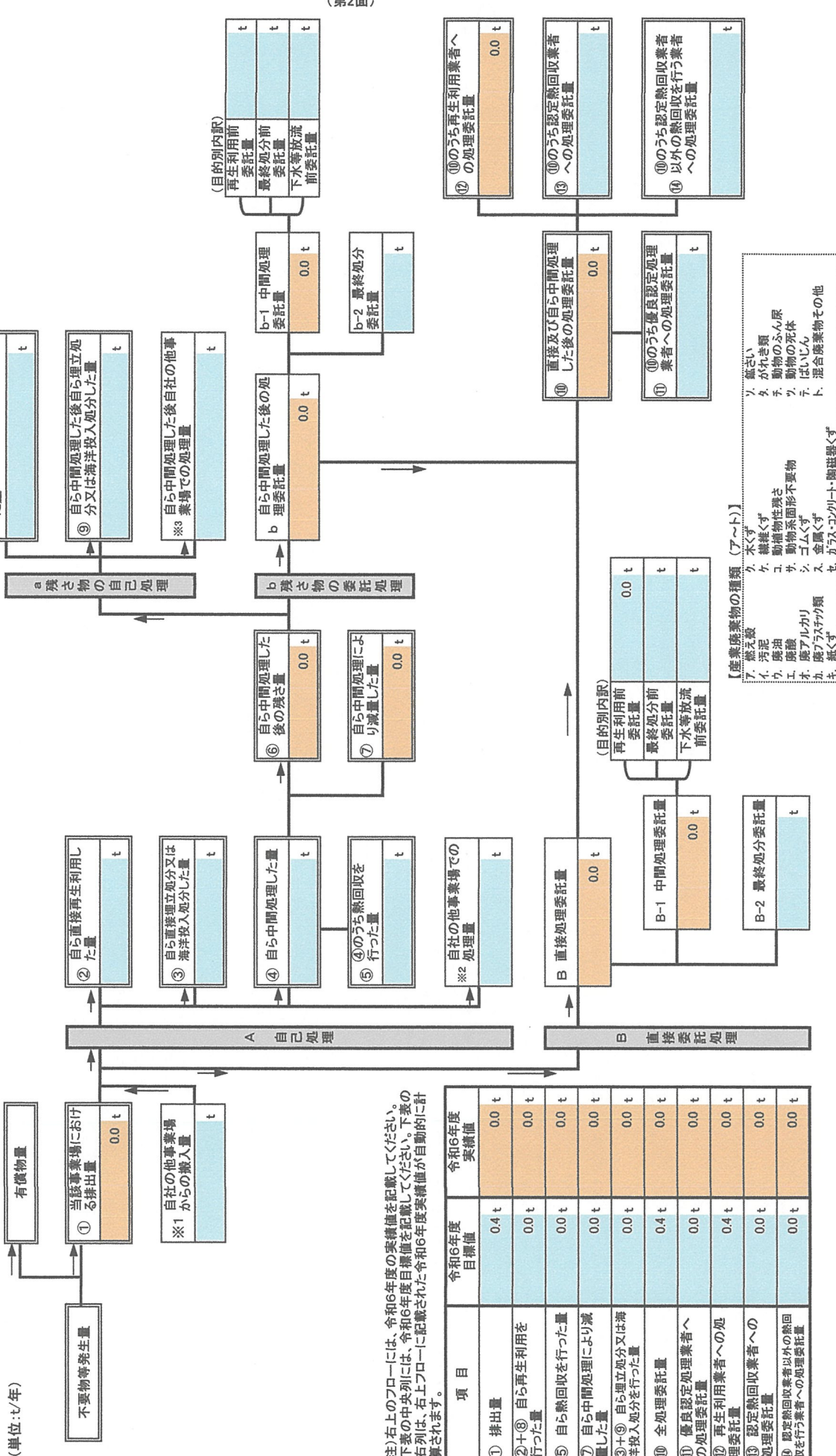
[illegible]

別紙処理口一

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(單位:t/年)



(主)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の
下巻の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の
右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計
算されます。

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

[illegible]

(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

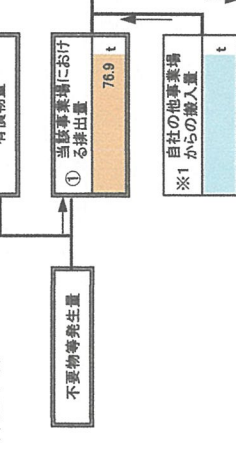
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類 カ、廃プラスチック類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注: 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	191.1 t	76.9 t
②+③ 自前再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自前熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ ④のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑥ ④のうち再生利用業者以外の処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑦ ⑥のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑧ ⑥のうち再生利用業者以外の処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑨ ⑥のうち再生利用業者以外の処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩ ⑥のうち再生利用業者以外の処理委託量	0.0 t	0.0 t

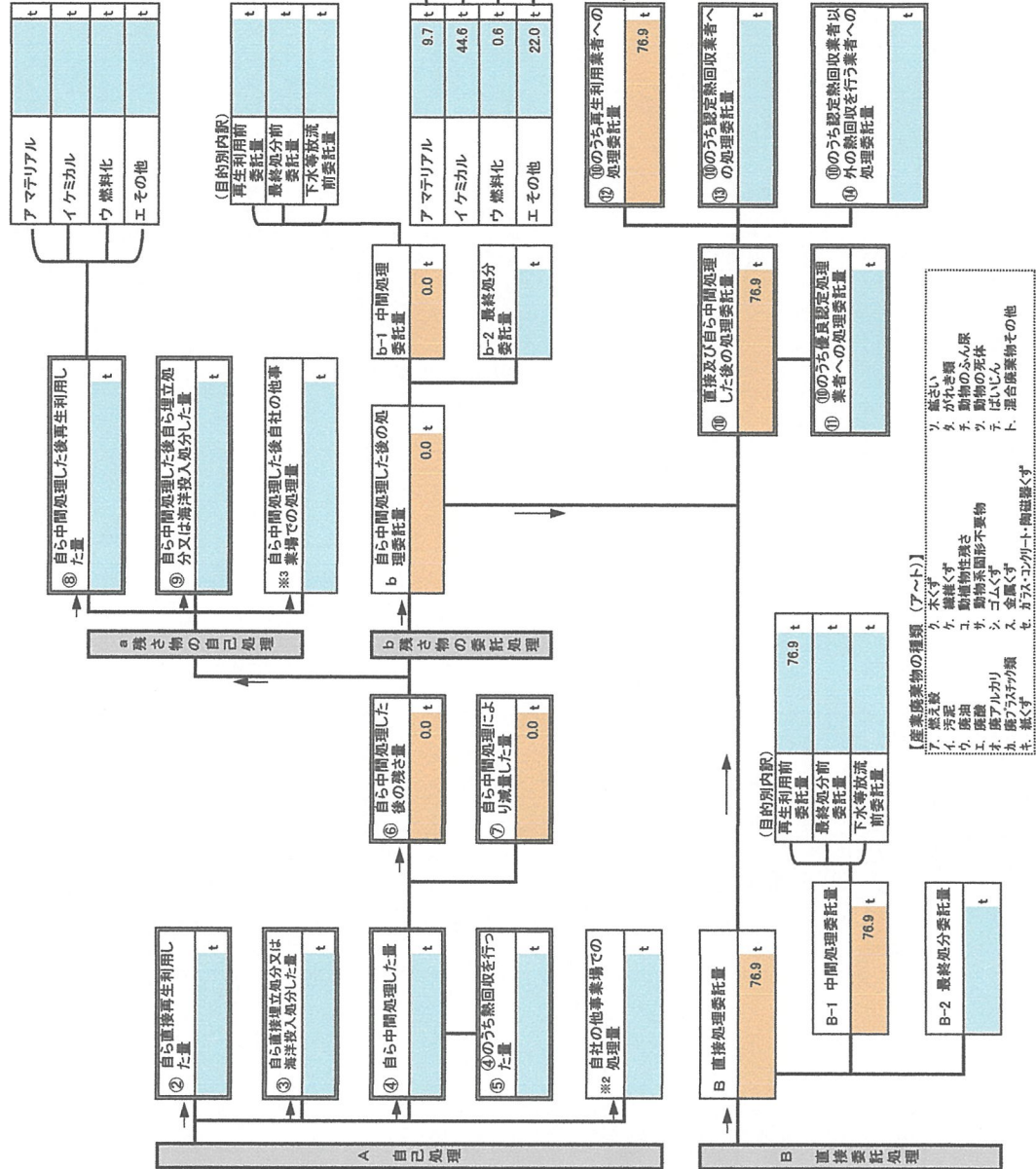
参考

排出量等のうち有効利用の割合	100.0 %
(内訳) サーマリカバリーの割合	0.8 %

↓ 注意: 本年度の目標値のみでフロー図の実績データがない場合にも、本年度目標データを該当欄に入力してください

事業場名称: 横浜市内管轄工事現場

3-2 法定 自主



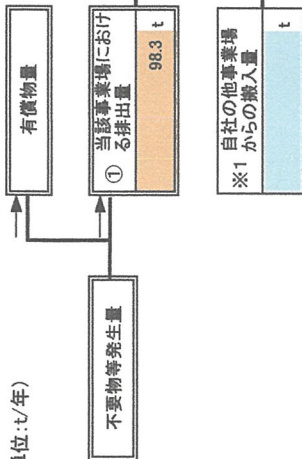
(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

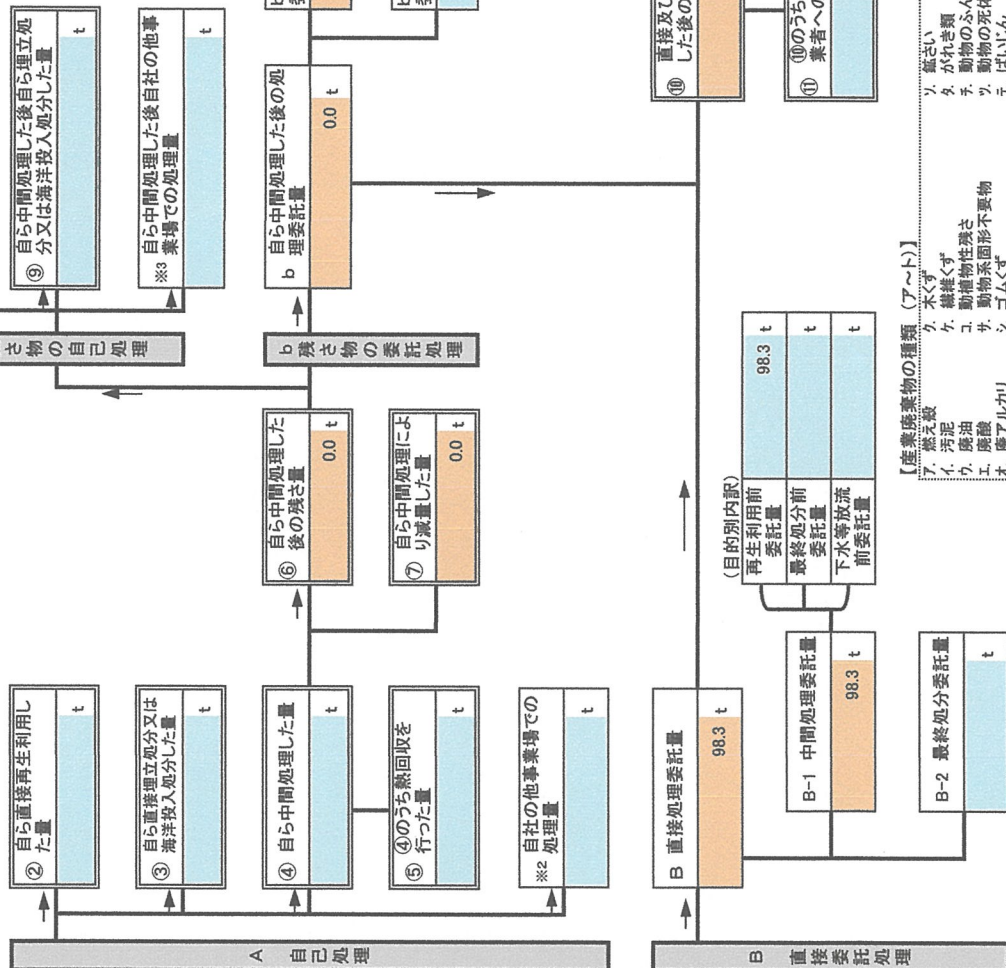
【本フローに記載した産業廃棄物の種類】
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	15.9 t	98.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら燃回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	15.9 t	98.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	15.9 t	98.3 t
⑬ 認定燃回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定燃回収業者以外の燃回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【紙くず】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【紙くず】は紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷加工業、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ロ. 廃油
ハ. 廃プラスチック類
ニ. 廃アルカリ
ヒ. 廃プラスチック類
ヘ. 紙くず
ホ. 繊維くず
ヘ. 動物のふん尿
ト. 動物の死体
チ. ばいじん
リ. ばいじん
ロ. 混合廃棄物その他

別紙処理口—

ク 士ノゾ

(单位:t/年)



- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-----------|-------------|
| ア. 燃え殻 | カ. 不くず | ナ. 雑草 | タ. がれき | チ. 雑さい |
| イ. 汚泥 | ク. 糞堆くず | ツ. 植物性残渣 | テ. 動物のふん尿 | ツ. 動物の死体 |
| ウ. 廃油 | ケ. 動物系固形不棄物 | ツ. 動物系固形不棄物 | ト. ばいじん | ト. 混合廃棄物その他 |
| エ. 炭酸 | コ. ゴムくず | セ. 金属くず | | |
| オ. 廃アルカリ | | | | |
| カ. 廃ガラス等の類 | | | | |

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

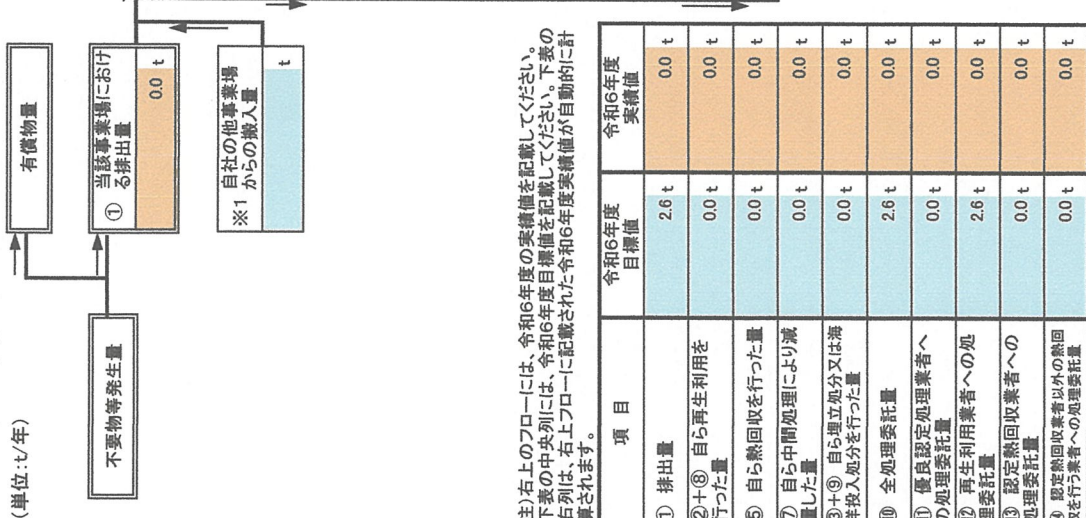
別紙処理口一

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フロアーに記載した産業廃棄

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(单位:t/年)



(主)右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下叢の左列には、令和6年度目標値を記載してください。下叢の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

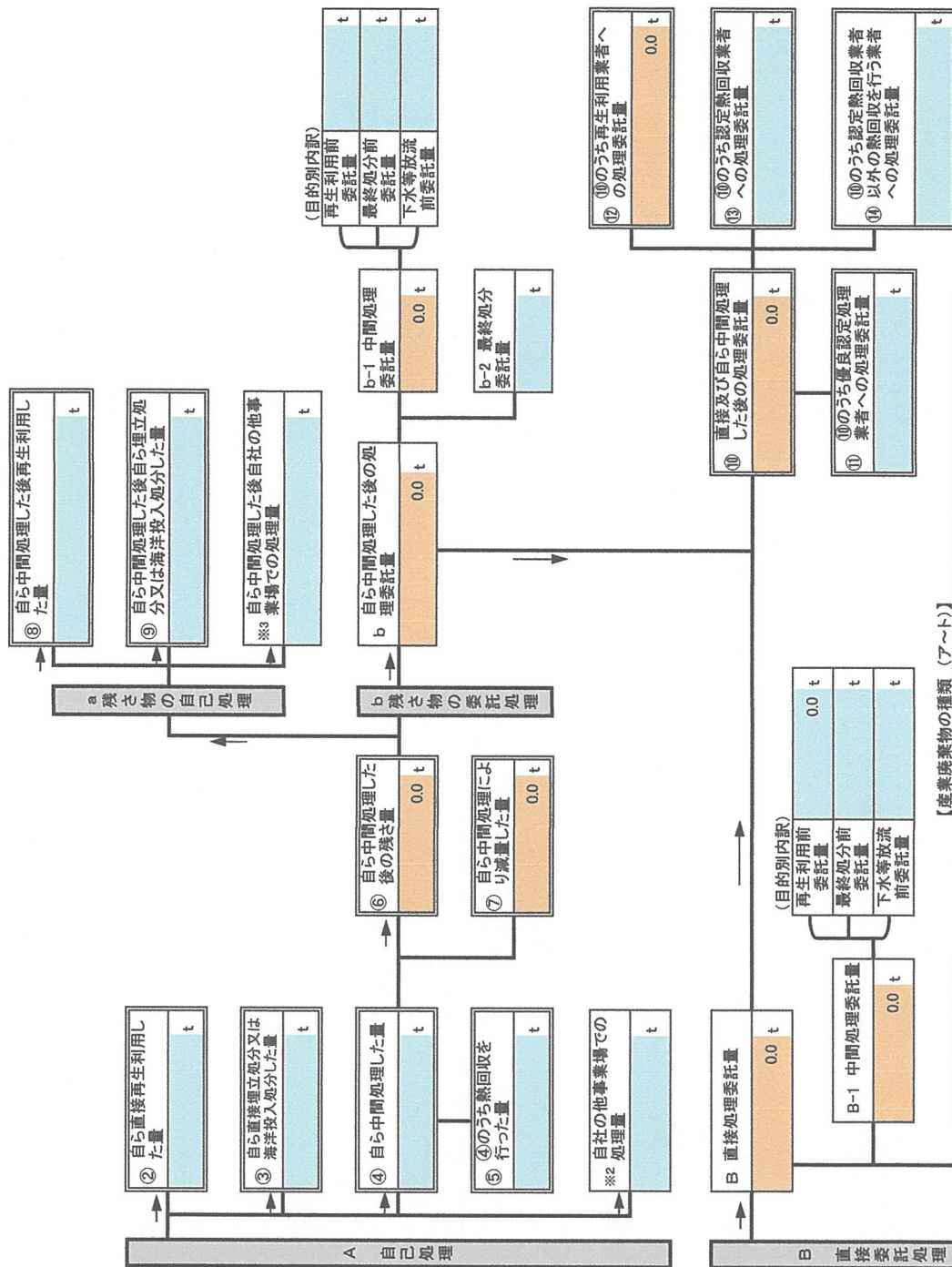
項 目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	2.6 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を 行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.0 t	0.0 t
⑨ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.6 t	0.0 t
① 優良認定処理業者へ の処理委託量	0.0 t	0.0 t
② 再生利用業者への処 理委託量	2.6 t	0.0 t
③ 認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
④ 認定熱回収業者以外の熱回 收を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ク、燃え殻
カ、浮泥
キ、廃油
ク、炭酸
コ、工、
ケ、腐敗アルカリ
コ、腐敗フラスマック類
セ、結く

ク、木くず
カ、機織くず
キ、動物性残渣
ク、動物米回形不要物
コ、コムくず
ケ、釜屋くず
セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず

ナ、狐さい
ニ、がれき類
ノ、動物のふん尿
ネ、動物の死体
ト、ばいじん
ド、混合廃棄物その他



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

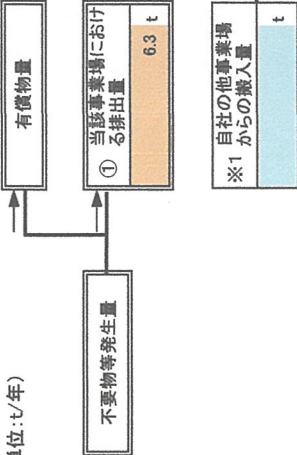
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

【産業廃棄物の種類】セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

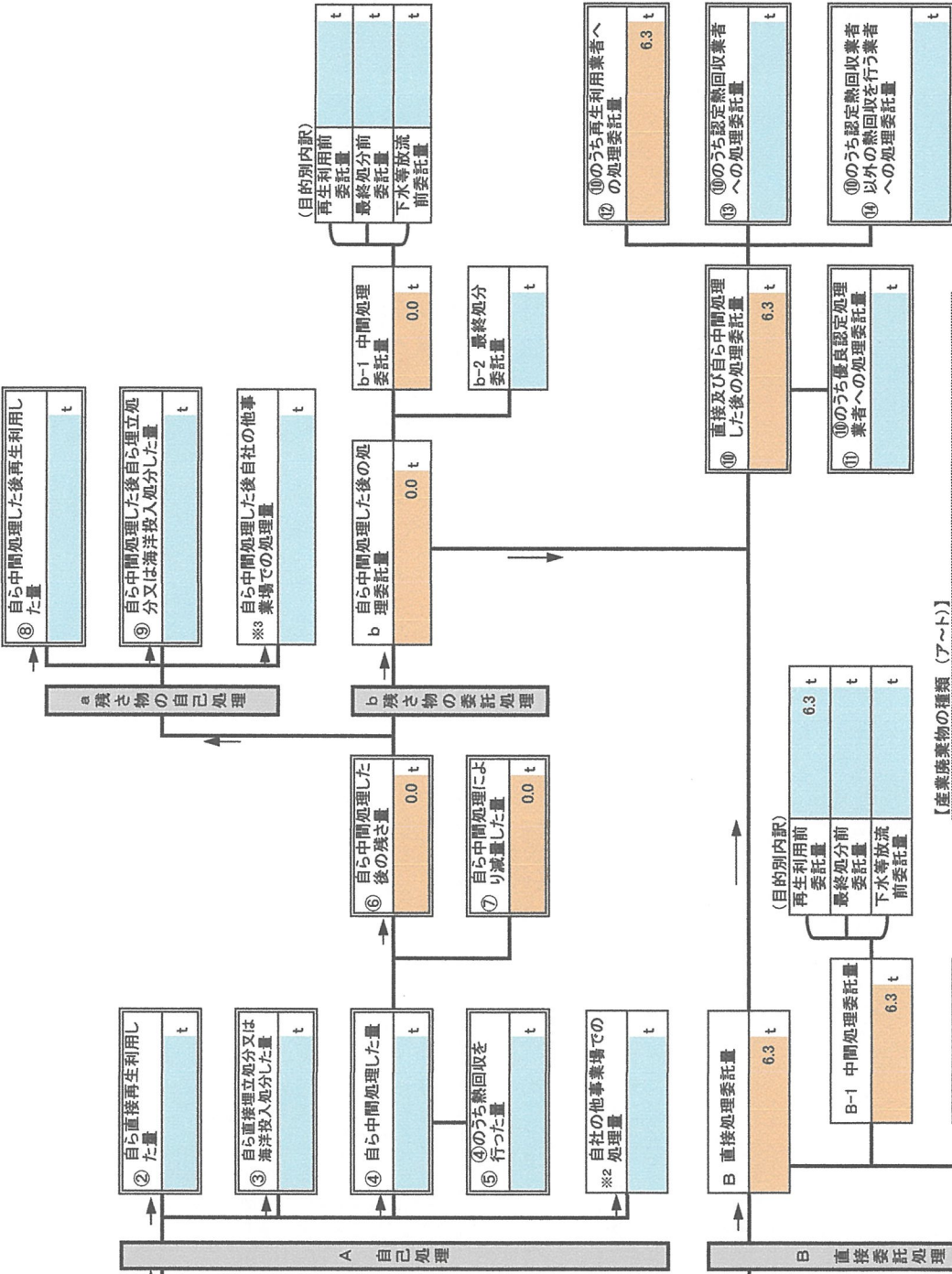


注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	176.3 t	6.3 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	176.3 t	6.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	176.3 t	6.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 横浜市内工事現場

3-2 法定 自主



- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 繊維くず
 - ク. 木くず
 - ケ. ぐれき類
 - コ. 動物のふん尿
 - サ. 動物の死体
 - シ. ばいじん
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. 汚泥
 - チ. 動物の死体
 - ツ. ばいじん
 - テ. 金属くず
 - ト. 混合廃棄物その他

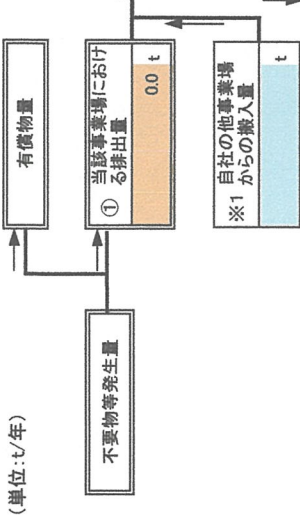
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

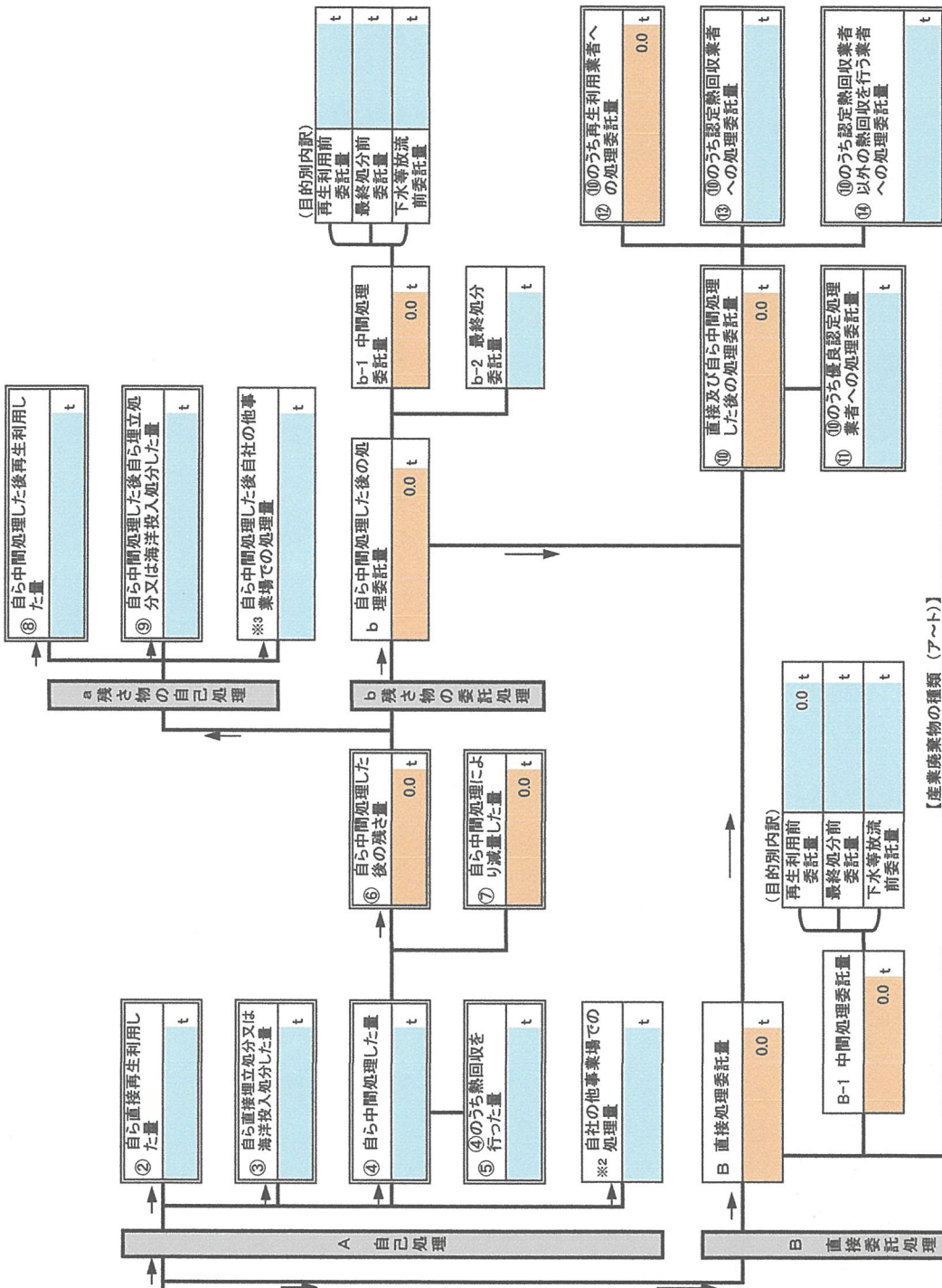
(単位: t/年)



(第2面)

3-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称: 横浜市内工事現場



- 【産業廃棄物の種類 (アール)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 金属くず
 - コ. 動物のふん尿
 - サ. 動物の死体
 - シ. ばいじん
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. ぬい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	77.5 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	77.5 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	77.5 t	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

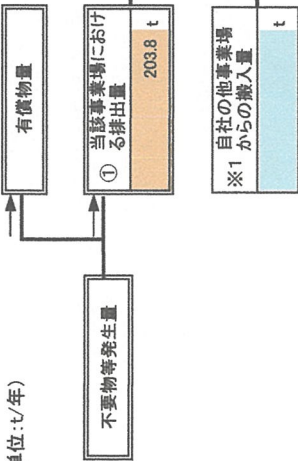
別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

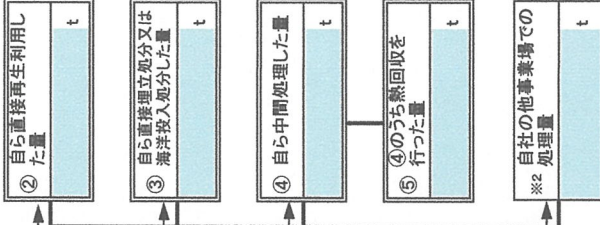
フローに記載した産業廃棄物の種類
ト、混合廃棄物その他

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



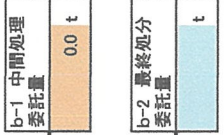
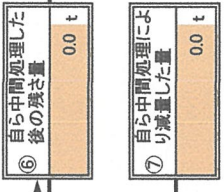
A 自己処理



a 残さ物の自己処理



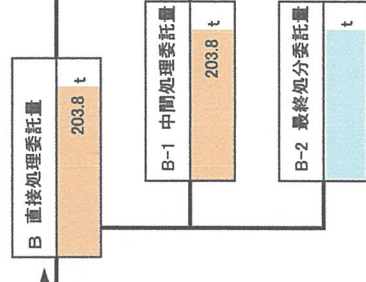
b 残さ物の委託処理



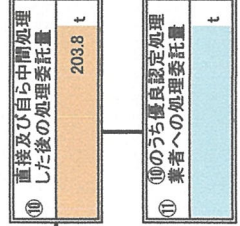
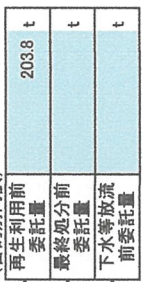
(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

B 直接委託処理



(目的別内訳)



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 繊維くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性廃棄物
- サ. 動物の死体
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	971.6 t	203.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	971.6 t	203.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	971.6 t	203.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称 : 横浜市管轄内工事現場